

後

援

会

た

よ

り

イムヌエル
聖宣神学院後援会
<http://btc.jp.com/>

苦難の日に呼び求めます

～慈しみ深く赦しに富む神に～



会長 中山朝雄
(中目黒教会)

「主よまことにあなたはいつくしみ深く 赦しに富み、あなたを呼び求める者すべてに恵み豊かであられます。主よ 私の祈りに耳を傾け 私の願いの声を心に留めてください。苦難の日に私はあなたを呼び求めます。あなたが私に答えてくださるからです。」
(詩篇八六篇5～6節)

ご支援に心より感謝いたします。

2020年から始まった新型コロナウイルスとの戦いは3年を経過しようとしておりますが未だ私達はこの脅威から解放されておりません。この現実をどの様に捉えたらよいのでしょうか。神様のなさることは有限な私共には計り知れませんが、このコロナ禍を通して、私達の信仰をもう一度問い直し刷新の時となるように導いておられるのではと思わされております。今人類は「混迷の世紀」に生かされておりますが、翻って私達を取り巻く教会や教団にとっても様々な問題課題があります。特に教団内からの献身者が3年間も興されず、BTCキャンパスに神学生がいなくなるという教団の存続にかかわる重要な課題を突き付けられているこの時、私達はグレートリセットを求められているのではないのでしょうか。

私達はこの難局に当たって、献身者興起のために個人・教会等で冒頭の祈りを熱心に捧げております。しかし、この祈りは「赦しに富み」とダビデは自身の咎を豊かに赦して下さる主を仰いで呼び求めて祈る姿が示されています。私達もこの祈りに倣い、私共が、教会が、教団が夫々の立場でこれまでの来し方の歩みがどうであったかを

主の前に謙虚に問い直したうえで主の赦しを希いつつ、造り替えていたたく時を持たせていただきたく願っております。まず私達信徒自らが足元を見つめ直すために、信徒局は局員のために10月に2回に渡ってハラスメントについて「聖なる教会を目指して」を教材として研修会を行い、もう一度私達が依って立っている「聖と宣」の信仰による聖なる教会・教団を目指して、新たな一歩を踏み出したいと願っております。

そのうえで主を呼び求める時、主は豊かに私達の祈りに答えてくださると信じております。共に主を見上げ祈らせていただきますように。

BTCフェスタ報告

8月14～15日に初の試みでBTC主催夏フェスタを開催しました。長いコロナ禍でホテルハウスもしばらく閉じていました。が、感染対策を万全に一人一部屋、一泊で行われました。



(BTC夏フェスタ参加者)

少人数ではありませんでしたが、大學生を中心に献身を考えている若い方々が、先ずは久々に集まって「主に在る交わりを楽しもう」をテーマに恵み溢れる時となりました。

目玉は美味しい食事でしたが、信徒有志の姉妹方によって振舞われた食事に皆さんが喜んで下さったこと、夜の焚火を囲んでのキャンプファイヤーと賛美、メッセージと語り合いの中に主が共に居られ守られたことを心から感謝したことでした。引き続き十月にはオープンキャンパス、年末にはリトリートも予定されていますのでお祈りください。

- ◆日々お祈りください
- ①献身に導かれる方が与えられるように。神学生の学びと訓練が祝されるように。
- ②教師、職員、スタッフが恵みによって用いられるように。
- ③今後のキャンパス活用に主の導きがあるように。
- ④神学院の必要が豊かに満たされるように。
- ⑤後援会役員、推進委員、世話人が尊く用いられるように。

世話人から一言メッセージ

郡山教会 伊藤崇



この度、二回目の就任となりました。前回には後援会活動についてよく出来ない内に任期が終了しました。今回は、7月に北日本ブロック後援会世話人会がZoomで開催され、出席させていただきました。後援会の設立経緯や世話人に期待される働きを改めて知り、自覚が持てて感謝です。

安食教会 眞鍋光彦



この度、世話人を引き継ぐにあたり、私は「信仰とは教会生活で浄化され、教会は神学を基盤にして宣教する。」この信仰と神学は、キリストの福音となり授受し、聖宣神学院はこれらの果たす一助を託されていると認識して、主にありてこの小さな祈りをささげたい。

富山教会 蛇澤裕子



今期よりBTCの世話人を引き継がせていた

だいてます。BTCと聞くだけで隠れてしま

いたくなる私ですが、高桑先生ご夫妻、前任者に助けられつつ働き人のために祈ることから始めています。

不安や無関心の感情が現れることもありませんが、目に見えない静かなる主を感じ、励まされています。

久留米教会 徳永真貴子



久留米教会の吉村先生に、BTC世話人のお話を頂いてから、短時間でBTCのために祈ることが増えました。私は忙しすぎた日々が、コロナ禍で止まり、多くの気付きで神様に癒され変えられています。BTCも神様がどのような計画を備えられているのか、期待してサポートしていきたいです。

熊本教会 立山明子



実れる田面は見渡す限りに育った者です。世話人となって、改めて課題が多いことを知らされました。「刈り入れ豊かに、刈り手は乏し、勤しむしもべを

主よ増し給え」と日々祈りの手を挙げることから始めています。今年の夏、教会学校生徒が救われ、聖名を崇めまし

北日本ブロック世話人会報告

7月23(土)当初、ベテルハウスをキーステーションにしてリアルとZoomのハイブリット開催を計画しましたが、コロナ禍も収まっていな

わって下さり総勢16名の参加でした。参加者の自己紹介の後、林正弘神学院院长からショートメッセージ、BTCの一年のビデオ、今回、初めて世話人を引き受けられた方もいることから、BTC後援会の設立経緯、世話人の働きについてレクチャーを行いました。今回、Zoom開催ということもあり、世話人のご家族の方も参加して下さい、幸いな交わりとともに情報交換の時を持ってましたこと、主にあつて感謝しております。

BTC後援会費収支報告書

(2022年4月1日~9月30日まで)

項目	収入	支出
前年度繰越	579,078	
後援会費(教会)	251,000	
雑収入(利息)	2	
通信費		19,132
印刷費		18,995
会議費		13,593
支援献金*		30,000
交通費		5,000
雑費		440
小計	830,080	87,160
次期繰越		742,920
合計	830,080	830,080

*支援金:BTC夏フェスタへの支援献金

※皆様のご支援に感謝します。

(ズーム参加者集合写真)



2022年11月1日 第12号

編集・発行人

中山朝雄(後援会会長)

後援会事務局

〒226-0024

神奈川県横浜市緑区西八朔町1194-2

※後援会についてお問い合わせは

下記までご連絡ください。

電話

03-3291-1308(本部、中山)

メールアドレス

koenkai@btc.jpn.com